

みどり
緑のかけはし

〈第17号〉
〒980-0845
仙台市青葉区荒巻
字青葉 468-1
東北大学農学部・
農学研究科
国際交流委員会
No.17 March 2017

International Communication for Division of Agriculture (ICDA)



がくせい こうりゅう
「学生の交流」



こくさいこうりゅういいんかい いいんちょう お さだ まこと
国際交流委員会 委員長 尾 定 誠

こくさいこうりゅういいんかい いいんちょう お さだ しげんせいぶつかがくせんこう すいけんどうぶつせいりがくぶんや せいしよく
国際交流委員会の委員長をしている尾定です。資源生物科学専攻の水圏動物生理学分野で生殖
ないぶんび せんもん けんきゅう
内分泌を専門に研究をしています。

みな せんせい しどう まいしゅうきんようび ひるやす ひら
皆さんは、グレドル・イアン先生のアイデアと指導で毎週金曜日の昼休みに、Semi Lunchtime が開
かれて知っているのを知っていますか？この集会は、研究室にいる留学生や学部から入学して来た留学生
がくねん けんきゅうしつ こ きがる ひるやす あつ た こうりゅう ぼしよ ていきょう
に、学年や研究室を越えて気軽に昼休みに集まって、ランチを食べながら交流できる場所を提供する
ために企画されました。2016年からこの企画が、東北大学の日本人学生に英語環境を提供する TGL
(Tohoku University Global Leader) プログラムとしてリニューアルされました。留学生の中に日本人
がくせい くわ こと ぶんか しゅうかん も りゅうがくせい にほんじん こうりゅう ふか たが りかい ふか りゅうがくせい
学生も加わって、異なる文化や習慣を持つ留学生と日本人が交流を深めてお互いの理解を深めること
えいご かいわ こうじょう めざ ねん なまえ か よそお
と、英語による会話の向上を目指しています。2017年から Agriculture TGL Panch と名前を変えて、装
いも新たに、TGL プログラムに登録している日本人学生に積極的に留学生と関わってもらえるプロ
ラムになりました。

けんきゅうしつ りゅうがくせい おな くに き りゅうがくせい なか こうりゅう ほか
研究室にいる留学生は、同じ国から来た留学生のコミュニティーの中での交流をしています。他
の国から来た留学生とはあまり交流する機会が少ないと思います。学部から入学した留学生は、もっ
とそのような機会は少ないと感じています。一方、日本人学生は、研究室の少ない留学生と交流はし
ますが、英語で対応することがあまりうまくいっていないと感じています。これらの課題を解決する試
みとして、10月19日に国際交流委員会主催で、国際交流室と教務係と一部の学生の協力をもらって、
いもにかい ひら いもにかい おお だいがくいん がくぶ りゅうがくせい にほんじんがくせい みやぎけん
「芋煮会」を開きました。この「芋煮会」には、多くの大学院と学部の留学生と日本人学生が宮城県と
やまがたけん しゅるい いもに た たの こうりゅう しんぼくかい じっしんしやう ふんいき
山形県の2種類の芋煮を食べて楽しく交流できました(親睦会の実施参照)。このような雰囲気
で、Agriculture TGL Panch にいろいろな国から来ている留学生に日本人学生が加わって、多様な交流の輪
ひろ きたい
が広がることを期待しています。

留学生紹介

昨年4月・10月に新たに43名が留学生としていらっしゃいましたのでご紹介します。

- | ことば | | ことば | |
|-----|-----------------------------|-----|------------------|
| 1. | こくせき
国籍 | 4. | けんきゅう
研究テーマ |
| 2. | ざいせき
在籍課程
(2017年3月現在) | 5. | しゅっしんこう
出身校 |
| 3. | しよぞくぶんや
所属分野 | 6. | しゅみ とくぎ
趣味・特技 |
| | | 7. | じこしょうかい
自己紹介 |

Muhammad Izzat Nugraha

- インドネシア共和国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)
-
- MAN Insan Cendekia Serpong



challenging and exciting. Listening to orchestral music and reading the things I enjoy reading is what I do on my free time. Though I personally think that my hobbies are the things that makes me feel alive. I may just started learning Japanese, but I have a keen interest in it. I do not have the time recently, but I do enjoy traveling and going to concerts. I would like to explore the seas around the world one day.

文光賢 (MUN, KwangHyeon)

- 大韓民国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)



WAGNER-MUNS, Rachel Oriana

- アメリカ合衆国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)
-
- Ladue Horton Watkins High School
- Traditional and digital art, Traveling, Fossil hunting, Playing viola
- Hello, I'm Rachel but please call me Eden. I'm from the US, but I've studied Japanese for six years. I'm very excited to be here. I think this is an introduction? But I'm running out of words... oh no... I hope we meet soon so I have space for introductions!!



-
- Southville International School And Colleges
- A ll Sports(Except Basketball), E-Sport, Special Interest in Insectology

I'm undergraduate FGL student starting 2016 autumn. I'm Korean and ever since have lived there until 2nd grade of high school. I spend other 3 years in the Philippines to learn English. I'm majoring in applied marine biology. As an AMB student I'm strongly interested in the physiology and biochemistry of Oceanology.

NITIKITPAIBOON, Chotinan

- タイ王国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)



はじめまして、ニティキットパイブーン チョティナンと申します。ニックネームはギグです。タイ出身の AMB プログラムの1年生です。好きな食べ物はデザートです。趣味は小説を読むこと おんがく きこ こと おんがく とくす 事と音楽を聴くことで、音楽は特にクラシックが好きです。どうぞよろしく願い致します。

Astri Puspita Agatha

- インドネシア共和国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)
-
- SEKOLAH VICTORY PLUS
- Diving (I have a diving license), Anime / Manga / Light Novel, Interpersonal Skill, Team Work
- Agatha Puspita Astri, a consumer of Japanese Animation whom actually enjoys adventuring to the outside world and unite with the nature and bond with other people. I find doing work in the field very



郑效在 (CHUNG, HyoJae)

- 大韓民国
- 学部1年生 (FGL)
- 国際海洋生物科学コース (AMB)



-
- Wuhan Yangtze International School
- Dance, Watching movies, Cooking, Swimming
- Hello, I am HyoJae Chung from Korea (people usually call me Jae).

I am first year of Applied Marine Biology major, which is one of the Future Global Leadership courses. I am excited to spend the next four years in Sendai!

よろしくお願ひします!

えん 閃
閻 閃 (YAN, Shan)

- 
- 中華人民共和国
 - 博士前期課程 1年
 - 水産資源化学
 - 水産生物の脂肪酸に関する研究
 - 上海海洋大学
 - スポーツ, 音楽, 絵画, ギター
- 私は閻閃と申します。上海海洋大学在籍時に、特別聴講生として、東北大学へ一年間の留学をしました。特に、水産資源化学の研究分野が大好きで、卒業後は順調に、東北大学農学研究科に進学しました。これから、大学院生として一生懸命に頑張っていきたいと思ひます。まだ日本語の能力が十分ではないため、いつも研究室の皆さんがいろいろと面倒をみて下さるので、本当に有り難ひです。どうぞよろしくお願ひ致します。

げげんたな
格根塔娜 (GEGENTANA)

- 
- 中華人民共和国
 - 博士前期課程 1年
 - 環境経済学
 - 「生態移民」政策により移転された移民村のアメニティについて
 - 内モンゴル民族大学
 - ジョギング, バトミントン
- 私はゲゲンタナと申します。呼びにくいと思ひうので、タナだけでもOKです。2016年10月に大学院に入学しました。この2年間を有効に活用し、研究に励んでいきたいです。最近バトミントンにはまっています。同じ趣味の方がいらっしやれば、お声をかけて下さい。どうぞよろしくお願ひいたします。

ばくてい ぬるかどりしやいあ
BAKTI, Nurqadri Syaia

- 
- インドネシア共和国
 - 博士前期課程 1年
 - 水圏植物生態学
 - Comparative studies in the phenology ecology of Sargassum siliquastrum and Sargassum confusum
 - ハサヌディン大学
 - Traveling, Reading, Cooking
- Hi, I am Nurqadri Syaia Bakti. I come from Makassar, South Sulawesi Indonesia. Makassar is most famous city of east Indonesia because one of the tourist destinations that have been known in foreign countries, namely Toraja in South Sulawesi. I am a master student of Agriculture science and concern in the laboratory of marine plant ecology. My research about phenology of Sargassum is one of kind brown algae, every month go to field to take data using scuba diving. I am grateful to study in Agriculture science especially study about species of marine algae. As

long as my studies I have been saw the difference about kinds of brown algae in Japan which is different with species brown algae in Indonesia.

いん れいえい
尹 麗瑛 (YIN, Liying)

- 
- 中華人民共和国
 - 博士前期課程 1年
 - 陸圏生態学
 - 違う環境で育てた牛の糞が土壤物理性に与える効果
 - 吉林大学
 - 音楽を聞くこと, 歩く, お琴(少しできます), 歌う
- 私は中国吉林省延吉出身の尹麗瑛と申します。延吉は小さいけれど、中国の文化と朝鮮族の文化が混じる、風変りな町です。大学では動物科学を専攻し、今は東北大学の陸圏生態学分野で勉強と研究を行っています。小さい頃に見た日本のアニメから、日本への興味が深くなりました。日本の言葉、日本の文化はとてもおもしろくて、住んでいるうちに日本をたっぷり感じたいです。動物と自然環境がすきで、できればこれらに関する仕事をしたいです。これからは、一人前になれるように頑張っていきたいです。

あふいふあーざーら あぎすた
Afifah Zahra Agista

- 
- インドネシア共和国
 - 博士前期課程 1年
 - 栄養学
 - Identification of anti-inflammation compound from fermented rice bran
 - Bogor Agricultural University
 - Reading, Drawing, Cooking
- Since I don't have any family name, being called Afifah or Afi is fine. While this is not my first time being overseas, it is the first time I live overseas for quite a long time. I'm still not used to a lot of things, but I will do my best!

ぬにんぬるらいら
Nuning Nur Laila

- 
- インドネシア共和国
 - 博士前期課程 2年
 - 農業経営経済学
 - The impact of beef price rose in 2013 to the future cattle farm, study case: Malang District
 - ブラウイジャヤ大学
 - Cooking Indonesian food
- I am student of 2nd year master degree. I work in Livestock and animal health institution of Malang district Indonesia. I intend to study more about agriculture mainly animal husbandry sector to support my future career when I come back to my country. Supervised by Professor Keichii Ishii Sensei, I would like to observe about how the beef price rose in 2013 affected to the cattle farmers in Malang district in order to figure out the pattern occurred as the first step to predict the future of cattle farm in Malang district.

る きん で い で で い
ROSANDI, Dedy

きょうわこく
1. インドネシア 共和国

はくしぜんきかてい ねん
2. 博士前期課程 2年

(ヒューマンセキュリティ・リンケージプログラム)

こくさいかいほうかく
3. 国際開発学

4. Supply Chain Analysis of Potato in Pasuruan Regency

だいがく
5. アンダラス大学

6. Photography, Agricultural development

7. I come to Japan for master program by government scholarship, and I earned my undergraduate in agricultural economics. In Indonesia where I come from, I work for Ministry of Agriculture concerning horticultural development. Hopefully in Tohoku University I could learn many things encompassing academic, Japanese culture, international friendship and so on. Dozo yoroshiku onegaishimasu.



おう りゅうかい
王 竜魁 (Wang Longkui)

ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国

はくしこうきかてい ねん
2. 博士後期課程 1年

こくさいかいほうかく
3. 国際開発学

ちゅうごくしょうすうみんぞくちいき ひんこんどうたい ひんこんさくげん
4. 中国少数民族地域における貧困動態と貧困削減

せいさく
政策

らんしゅうだいがく
5. 蘭州大学

えいが みんぞく
6. 映画, 民族ダンス

7. 中国甘肅省からの留学生王竜魁と申します。今はドクター1年生として、冬木勝仁先生のもとで研究をしています。中国少数民族地域の開発に関することに興味あり、マスターを卒業した後はNPO「文化行者」を創立し、だいがくせい いっしょ しょうすうみんぞくむ ぶんかたようか 大学生のボランティアと一緒に少数民族向けの文化多様化と、コミュニティデベロップメントに関するプロジェクトをしています。



み な く し きー に
Minakshi Keeni

きょうわこく
1. インド共和国

はくしこうきかてい ねん
2. 博士後期課程 1年

こくさいかいほうかく
3. 国際開発学

4. —

5. Agricultural Economy and Gender Empowement in India

6. The Helitage School, Kolkata, India

7. Fashion, Gyming, Dancing Swimming

8. Somethings a lady doesn't tell and that's way I will tell you only so much and then wait for you to find out. Hello, I am Minakshi Keeni from India, Pursuing mu PhD from the Department of International Development Studies. I am a fun loving girl, who loves to watch movies, play games, stalk fashion sites and shops. I completed mu masters in South and West East Asian Studies and secured the top rank in my university. I strongly believe in being self-independent and spreading happiness.



ひょう めい か
馮 夢佳 (FENG, Mengjia)

ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国

がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生

どうぶつかんきょう がく
3. 動物環境システム学

かつよう けんきせいびせいぶつ こうみつどか びせいぶつかんそうごさよう
4. PS活用による嫌気性微生物の高密度化と微生物間相互作用の促進によるメタン発酵の効率化



こうせいみんぞくだいがく

5. 広西民族大学

どくしょ りょうこう こと
6. 読書, 旅行, ヨガ, 琴

わたし じぶん かのうせい ため もくてき にほん
7. 私は、「自分の可能性を試す」ことを目的とし、日本へ留学にきました。物事に対して持続性があり、目標に対して労を惜まず、地道な努力が出来るのが自分の強みです。どんなことをするときにも、積極性や向上心は必要だと思いますので、私のモットーである“留学生活で学んだこと”を今後の社会生活に生かしていきたいです。

む りげん
牟 李玄 (MU, Lixuan)

ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国

がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生

せいぶつかいようがく
3. 生物海洋学

かいようせいいたいけい かんけいどうぶつ きのう よてい
4. 海洋生態系における環形動物の機能 (予定)

かちゅうのうぎょうだいがく
5. 华中農業大学

りょうこう えいが きつえい
6. 旅行, 映画, 撮影, ミュージック

7. 私の名前は牟李玄と申します。中国からの留学生です。海洋に興味を持っていて、今は生物海洋学研究室で勉強しています。私の趣味は多岐にわたりますが、旅行と撮影が一番好きで、また映画とアニメも好きです。特にSF とフアンタジー系、たとえばStar wars やthe lord of the rings などが好きです。



わん ちやんめい
王 瓊漢 (WANG, Chiungmei)

たいわん ちゅうかみんこく
1. 台湾 中華民国

がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生

おうようびせいぶつがく
3. 応用微生物学

ぶんり しんきせいりかつせいぶつしつ たんさく
4. Ktedonobacteriaの分離と新規生理活性物質の探索

めいでんだいがく
5. 銘傳大学 (Ming Chuan University)

りょうこう どくしょ うんどう
6. 旅行, 読書, 運動

7. 大学生の頃に新しい菌の発見に際し、その菌の生理活性物質の探索をしていましたが、卒業後それができなくなり、とても残念に思っていました。大学院でまた微生物の研究できることは、またとない機会だと考えています。



はん きんゆう
樊 欣熠 (FAN, Xin-yi)

ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国

がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生

せいぶつこうがく
3. テラヘルツ生物工学

4. —

しゃんはいりこうだいがく
5. 上海理工大学

えいが ぼんぐみ おんがく りょうこう さんぽ
6. 映画・ドラマ・番組, 音楽, 旅行, 散歩

7. 樊欣熠と申します。中国の上海から来た学部研究生です。日本の文化に深い興味を持ったことから、日本語の勉強をはじめ、日本に留学できました。今は農学部のテラヘルツ生物学の高橋先生のもとで勉強しています。日本にいる間に、たくさんの人と仲良くなり、楽しい留学生生活を過ごしたいです。もしよかったら、仲良くしてください。お願いします。



とう かんえん
唐 冠琰 (TANG, Guanyan)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 農業経営経済学
4. 中国西部地域における新たな農業ビジネスモデルの展開可能性
5. 武漢理工大学
6. 音楽, 映画
7. 唐冠琰と申します。中国湖北省出身です。J-POP がきっかけで日本語を勉強し始めました。音楽を聞いたり、映画を見たりして過ごす、ゆっくりとした週末が好きです。自分らしい道を進みたいと思ひ、ここにやってきました。いろいろひとであいろいろけいけん ほう おもしろ おもしろ 色々な人と出会ひ、色々な経験した方が面白いと思ひますので、面白い人と一緒に面白いことをやりたいです。最近(さいきん)は辛い(から)ものが恋(こい)しくてたまらないです。よかったです。美味(おい)いお店(てん)を紹介(しょうかい)してください。宜(よろ)しくお願(ねが)ひします。



おう しの
王 思諾 (WANG, Sinuo)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 沿岸生物生産システム学
4. 水産類の分子生態学研究についてー西泉眼ダムのワカサギ胚子発育
5. 大連民族大学
6. 絵を描く
7. 中国遼寧省から出身の留学生、王思諾です。日本と日本文化が好きなので、日本に留学に来ました。日本は1年ぐらゐ住んでいるので、昨年よりも少し慣れましたが、授業での日本語はまだ下手です。勉強と研究の為にこれからも頑張っていきます。



じょ えんれい
徐 燕麗 (XU, Yanli)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 水産資源化学
4. ー
5. 浙江科技学院
6. 料理
7. 私はジョエンレイと申します。農学部水産資源化学の研究生として東北大学に入学する為、平成28年9月に中国の浙江省から仙台に来ました。私の趣味は料理ですが、あまり上手ではありません。平成29年4月の修士入学を目指しています。どうぞよろしくお願ひ致します。



わん じやうい
王 嘉璋 (WANG, Jiawei)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 遺伝子情報システム学
4. 麴菌のタンパク質生産向上に寄与する転写因子の探索



あんきい かだいがく
5. 安徽医科大学 (Anhui medical university)

6. Running, English literature, Saxophone
7. Hi, This is Wang from China. I am now a research student in the laboratory of Pro. Gomi and hopefully I will become a master student next year. I like sports and music. I can play saxophone and I am preparing for the Sendai marathon in 2017. I watch NBA games on weekends and also shows like South Park and the Walking Dead. So basically I have a very American style life.

ばたらほ
巴达拉胡 (Badalahu)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. フィールド社会技術学
4. リモートセンシング
5. フルンブイル学院
6. 水泳, アニメ
7. 私はバダラホと申します。私の家族は、母と2人の兄と私の4人家族です。私の専門は行政管理です。フルンブイル学校の卒業生です。私の性格は外向的で、人との付き合いが大好きです。最も興味を持っていることはアニメ、水泳、運動です。日本の文化と経済、生活様式に興味があるので、日本に来ました。自分の持つ知識を増やし、優秀な研究者になりたいと思ひています。



よう こういく
楊 弘昱 (YANG, Hongyu)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 農業経営経済学
4. 有機米販売のマーケティング戦略
5. 南京農業大学
6. 音楽鑑賞, テンプレコール
7. 私はアニソンライブが大好きで、度々ライブ会場に足を運んでいます。fripSideの大ファンで、ボーカルの南條さんがとてもかわいいと思ひます。同時に私の一推しはLiSAさんで、ライブの時に聴いたLiSAさんの歌声は、頭の頂点から尾骶骨まで突き抜けるほどの感動を私に呼び起こさせました。どうぞ宜しくお願ひします。



よう じゅうりん
葉 戎玲 (YE, Rongling)

1. 中華人民共和国
2. 学部 研究生
3. 作物学
4. 仙台市沿岸地域の農家圃場における大豆の生産性評価
5. 華中師範大学
6. 旅行すること、箏を弾くこと
7. 私は仙台市に来る前に、一年間京都で住んでいました。アニメが大好きなので日本語を学び始めましたが、今はアニメだけではなく研究や生活のために日本語の勉強を続けています。私は旅行が好きなので、色々なところを旅し、見たことのないものを見て、したことがないことをしたいです。



おう そう
王 聰 (WANG, Cong)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和國
がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生
こくさいかいほつがく
3. 国際開発学
4. The Study on Rural Poverty Problem and Poverty Reduction Strategies in Western China
さんとうかぎだいがく
5. 山東科技大学
どくしょ りょうこう おんがく えいがかんしょう
6. 読書, 旅行, 音楽, 映画鑑賞
7. Hi, my name is Wang Cong. I'm from Shandong province, China. I've been graduated from Shandong University of Science and Technology. Now I am a research student at the laboratory of International Development Studies under the Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University. Besides, with the help of my supervisor and laboratory members, I can do some research by myself which I'm very interesting. And I'm very happy to get the opportunity to study in here where I'm looking forward for the amazing experiences in the future.



さぶ とら わひ ゅ だうい
SAPUTRA, Wahyu Dwi

- きょうわこく
1. インドネシア共和国
がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生
えいようがく
3. 栄養学
4. Physiological Mechanism of Functional Food Ingredients
だいがく
5. ガジャ・マダ大学
6. Photography, Writing and Blogging, Cooking, Journalism
7. Wahyu Dwi Saputra or often called Wahyu. I am a new member of Laboratory of Nutrition, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University as research student. I came from Indonesia and completed my bachelor degree at Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta. I am deeply interest in the study of correlation between functional food ingredients and human health. I believe that I will acquire the best knowledge by studying in Tohoku University and also unforgettable memory by living in lively city of Sendai



おういんが
鳥音嘎 (Wuyinga)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和國
がくぶけんきゅうせい
2. 学部 研究生
しゃかいぎじゅつがく
3. フィールド社会技術学
うち じちくせいぶちいき はんのうはんぼくちく
4. 内モンゴル自治区西部地域の半農半牧畜の生態現状と課題について
せいいたいげんじょう かだい
5. 北京興華大学
べいじんしんふふだいがく
6. 旅行, スポーツ
りょうこう
7. 私はオウインガと申します。内モンゴルから参りました。「以心伝心」という格言がありますが、私の特技は相手の心を見つめると、その人の気持ちがわかってしまうことです。私は周囲の友達を第一に考える思いやりが一番大切だと考えております。友達からはあきらめの悪いタイプとよく言われます。何かに熱中すると、納得がいくまでやらないうと気が済みませんので、そのようなときは心を許せる友達に話をし、自分の気持ちを冷静に伝えています。



てい う
鄭 宇 (ZHENG, Yu)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和國
だいがくいんけんきゅうせい
2. 大学院 研究生
おうようびせいぶつがく
3. 応用微生物学
おんせん ゆらい しんき にじたいしゃさんぶつ
4. 温泉から由来した新規バクテリアの二次代謝産物 (抗生物質) の genome science
ちゅうこくかいようだいがく
5. 中国海洋大学
りょうこう えいが たつきゅう
6. 旅行, 映画, 卓球
みな ちゅうこく りゅうがくせい ていう ふるさと
7. 皆さん、こんにちは。中国からの留学生の鄭宇です。故郷を離れ、家族と別れてひとり暮らしするのは、やはり寂しことですね。けれども、日本で生活し、勉強することは私の目標でした。最近では新しい友達もでき、だんだんと慣れてきました。日本は歴史のある魅力的な国ですので、色々なところを訪れたいです。



ほう ぶんへい
封 文萍 (FENG, Wenping)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和國
だいがくいんけんきゅうせい
2. 大学院 研究生
すいけんしよくぶつせいたいがく
3. 水圏植物生態学
4. Reproductive potential and commercial roe quality of the sea urchin *Heliocidaris crassispina* in a newly range-extended area.
だいいんかいようだいがく
5. 大連海洋大学
りょうこう
6. 旅行
しゅうしかてい わたし ようしよく せいしよくす ひんしつかいぜん
7. 修士課程では、私はウニの養殖と生殖巣の品質改善に関する研究を行いました。ウニの研究の第一人者のひとりである吾妻先生の元で研究を続けたいと考え、水圏植物生態学の研究室に入りました。研究室の皆さんは親切で、いつも私を助けてくれるので、とても嬉しく思っています。日本へ来る前に、私は10カ月しか日本語を勉強してなかったのですが、あまり日本語は上手ではありません。流暢に交流ができるようになるために、今は毎日日本語を勉強しています。



でん あいなん
田 菱楠 (TIAN, Ainan)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和國
だいがくいんけんきゅうせい
2. 大学院 研究生
しよくぶつびょうりがく
3. 植物病理学
しゆくしよくぶつ そうごきょう
4. ウイルスと宿主植物の相互作用
なんきんのうきょうだいがく
5. 南京農業大学
りょうこう
6. 料理
もう せんだい き ほんとし た
7. デンアイアンと申します。仙台に来てからもうはや半年が経とうとしております。ここで知り合った人々は皆親切で、また仙台はさすがの都と喧嘩しているだけあり、毎日いい景色に囲まれて、いい雰囲気生活ができ、心から感謝しております。博士課程のために来ましたので、これから3年間滞在予定です。どうぞよろしくお願致します。



ゆー りんふえい
于 凌飞 (YU, Lingfei)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国
とくべつちようこうがくせい
2. 特別聴講学生
すいさんしげんせいたいがく
3. 水産資源生態学

4. Marine Biology
しゃんはいかいようだいがく
5. 上海海洋大学

6. Skate board, Cooking, Swimming

7. On April 2016, I came to Japan, and since October I have been a member of International house of Tohoku University, It is a very good opportunity to be the exchange student of Tohoku University, I learned many knowledge about my major, attended the experiment with students in Tohoku University, joined many activities and made many friends here. It is really a good memory.

おう ゆう
王 玉 (WANG, Yu)

- ちゅうかじんみんきょうわこく
1. 中華人民共和国
とくべつちようこうがくせい
2. 特別聴講学生
すいさんしげんかがく
3. 水産資源化学

4. ギンザケの品質改善について
しゃんはいかいようだいがく
5. 上海海洋大学

6. 勉強、撮影、ジョギング

7. 私は王玉と申します。上海海洋大学からの特別聴講学生です。日本で一年間所属する研究室の雰囲気大好きです。また、先生と先輩方はいつも私に優しく話してくれて、心から感謝しています。皆さんに「いつもお世話になり、本当にありがとうございます」と伝えたいです。さらに、自分の努力で、日本語能力試験二級に合格しました。これから、自分の夢を実現するために一所懸命頑張っていきたいと思っています。どうぞ、宜しくお願い致します。

そら や れすてい ばんじえすていか
SORAYA, Resti Pangestika

1. インドネシア共和国

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 栄養学

4. Physically modified carbohydrate

5. ボゴール農科大学

6. Writing, Reading, Marketing (interest), Culture (interest)

7. You can call me Soraya or Aya. I am a last year student in Department of Food Science and Technology of Bogor Agricultural University, expected to graduate in April 2017. For me, the best sweet in Japan is Anko, Daifuku and Dango. I can eat so many of them. They are so delicious!

では なら びんか
Dheanara Pinka

1. インドネシア共和国

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 農業経営経済学

4. Sendaizu Value Chain

5. パジャジャラン大学

6. Traveling and Exploring many new things, Reading books

7. Hi! I am Pinka. I am an Indonesian Moslem, that is why I wear Hijab on my head. I am studying Agribusiness at Padjadaran university. As a business student, I believe that we have to live to the fullest. Curiosity does not kill a cat, so let us be friend!



きむ ひょいん
金 曉黃 (KIM, Hyoin)

1. 大韓民国

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 生物海洋学

4. Seasonal population change of Monstrilloida copepods

5. 釜慶大学校

6. Reading, Traveling, Listening Music, Watching Movie

7. Hello. Nice to meet you. I'm from Korea, and my hometown is Busan. I hope we can have great time in Japan.

ぐお ぐあんず
郭 広澤 (GUO, Guangze)

1. 中華人民共和国

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 土壤立地学

4. Soil Science

5. 揚州大学 (Yangzhou University)

6. Piano, Calligraphy, Table Tennis, Swimming

7. I'm Guo Guangze, a student of Yangzhou University of China. I'm much honored that I've become an exchange student of Tohoku university. I'm fond of playing the piano, calligraphy, table tennis and swimming. I enjoy the studying life in Tohoku university. There is strong atmosphere of studying and first rate facility. Everything of Tohoku university is worth studying for me. I hope I can continue studying in Tohoku university for master degree.

しゃー んる んど の れん りん で い まり あん
TJAERLUND NOREN, Lindy Maryann

1. スウェーデン王国

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 生物海洋学

4. Benthos in Gamo Lagoon

5. ウメオ大学

6. Photography, Hiking, Karate, Nature

7. Hi, my name is Lindy and I come from the northern parts of Sweden. This is my second time here in Japan and I have enjoyed it immensely so far. I study Biology at Umea University and taking courses in marine biology here. I hope that I will bring a lot of wonderful memories with me back to Sweden and have gained greater knowledge and understanding about Japanese culture.

はっだ で い あ り れ す め じ あ ん
HADDADI, Ighelasse Meziane

1. フランス共和国 (French-Algerian)

2. Junior Year Program in English (JYPE)

3. 分子情報化学

4. Chemical Synthesis of antibacterial compounds against super-resistant bacteria

5. パリ第6大学 (Université Pierre et Marie Curie, Paris)

6. Music : J-Pop, J-Rock, Music from Japan, Sports : Swimming (mostly) and others, Spend time with friends : Learn and speak Japanese, Food : Donuts, Yakitori

7. Hello! My name is Méziane. You can call me メジー (溟志). I come from France. I used to study in Paris. This September I have joined the JYPE program of Tohoku University in order to improve my japanese proficiency and experimental sciences skills and of course make a lot of new friends and enjoy Japan as much as I can.

よろしくお願ひします!



いしま にきた いけまふな
ISIMA, Nikita Ikemefuna

1. オーストリア共和国
2. Junior Year Program in English (JYPE)
3. 分子生物学
4. Chronological aging in *Saccharomyces cerevisiae*
5. ウィーン大学
6. アメリカンフットボールとMMA, トランペット, 読書, エレクトロニック・スポーツ
7. 私は日本食と日本文化が好きなので日本にきました。私は日本での生活を本当に楽しんでいます。とてもここだけでは自己紹介はしきれませんので、キャンパスで私を見かけたら、ぜひ話しかけてください!



はんばる さら えまどえるだいでん
HANBAL, Sara Emadeldein
Ahmed Abdelwahed

1. エジプト・アラブ共和国
2. 大学院特別研究学生
3. 植物病理学
4. Plant Virus
5. Kafir El-Sheikh University
6. Detection of virus by Western blotting and press blotting, ELISA, PCR, Cloning and Sequencing



7. Hi, I am Sara Emad, Research Student from Agricultural Research Center (ARC) Egypt. I am a linkage PhD channel program between Kafrelsheikh University and Tohoku University. Studying in Japan is my big dream, and I got a chance to visit here for 2 years. This is my great years; I hope to learn from the professor and all members of the lab they're really excellent team. Also hoping I can spend a wonderful time in Sendai, and get a lot of experiences. Thanks for my advisors who guide me during my study, for my friends who give me a spirit every day, and also for my family who always support me. I will give my best for my future and my own country. Let's make our days enjoyable with doing something useful.

ふあん べん たむ しえつけ
VAN BENTUM, Sietske

1. オランダ王国
2. 大学院特別研究学生
3. 植物病理学
4. Empirical analysis and modelling of the spread of R gene-mediated resistance to cucumber mosaic virus
5. ユトレヒト大学
6. Meeting with friends, Playing the violin or guitar, singing, Good movies, Being outdoors
7. Hi, my name is Sietske. I'm a graduate student from Utrecht University in the Netherlands. For several months I will be enrolled at TU for a research internship at the Plant Pathology group. While I'm here, I would love to meet as many people as possible. My main scientific interest is interactions between plants and microbes, but I would love to hear about your research! If you have any suggestions for life in Japan, please let me know. It would be nice to meet you!



平成28年度学術交流協定校間交流および活動実績報告

中国海洋大学 (中国)

水圏植物生態学分野 教授 吾妻行雄

2016年11月6日から3日間、中国海南島で2016年中国海洋・湖沼学会議が開催されました。会議の中で「ナマコの保護と持続的な利用」と題した特別セッションが企画され、中国棘皮動物学会からの招待を受けて「震災後のウニ個体群の動態」について講演を行いました。学会長である中国科学アカデミー水産研究所副所長の楊紅生先生とは中国海洋大学と同様に以前から研究交流を図ってきました。2013年7月には本学農学部を訪問されて講演会を開催したこともあります。セッションは、これまでの10数年間において、ナマコの生理生態学、種苗生産と栽培技術、ならびに増養殖施設の研究開発において中国が世界をリードして発展させてきたことを実感させるものでした。海藻の生理生態学が専門でナマコの餌料開発



中国海洋・湖沼学会議の受付会場
 左：李景玉先生、右：楊紅生先生



とくべつ えんじや きょうどうけんきゅうしや ふく
特別セッションの演者（共同研究者も含む）

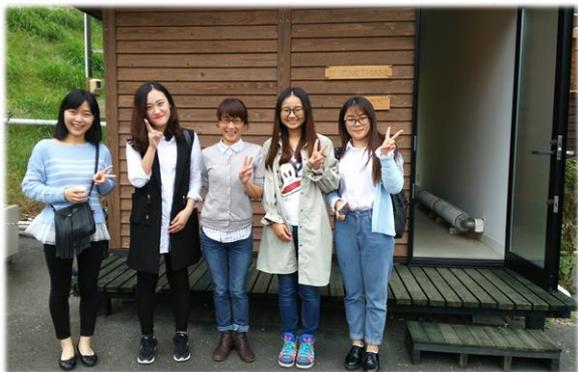
けんきゆう たずさ ちゅうごくかいようだいがく リー・ジン・ユー
の研究にも携わったことのある中国海洋大学の李景玉
じゆんきょうじゆ しゆつせき さいきん けんきゆう しんてん いけん
准教授も出席され、最近の研究の進展について意見
こうかん おこな ちゅうごくかいようだいがく かがく すいさん
交換を行いました。中国海洋大学と科学アカデミー水産
けんきゅうしや がくせい ふく そうご けんきゅうこうりゆう
研究所とは、学生も含めた相互の研究交流をさらに進
ねったい しま うたげ りょうせんせい やくそく
めることを熱帯の島の宴で両先生と約束しました。

ようしゅうだいがくどうぶつかがくぎじゆつがくいん ちゅうごく
揚州大学動物科学技術学院（中国）

きのうけいたいがくぶんや きょうじゆ あ そう ひさし
機能形態学分野 教授 麻生 久

ようしゅうだいがくどうぶつかがくぎじゆつがくいん とうほくだいがくのうがくけんきゅうか
揚州大学動物科学技術学院と東北大学農学研究科
は、2004年12月に部局間学术交流協定を締結し、
しょくいん だいがくいんせい がくじゆつこうりゆう けいぞくてき かつぱつ じつし
職員・大学院生の学术交流を継続的に活発に実施し
た。この成果が認められ、2008年6月には大学間交流協定
ていけつ はってん だいがくこうりゆうきょうてい もと だいがくいんせい
締結に発展した。大学間交流協定に基づき、大学院生
そうごこうりゆう ようしゅうだいがく だいがくいんせい たんきりゆうがく
の相互交流のため、揚州大学から大学院生の短期留学
まいとしう い がくせい たいしゅう どうぶつかがく
を毎年受け入れて、学生を対象とした動物科学に対する
けんきゅうかい じょうほうこうかん けんがく おこな さくねん
研究会、情報交換、見学などを行っている。昨年は、
ようしゅうだいがく めい たんきりゆうがくせい のうがくけんきゅうか ほうもん
揚州大学から3名の短期留学生在が農学研究科を訪問し、
のうがくけんきゅうか めい しゅうがくせい たんきりゆうがく おこな
農学研究科からは4名の修士学生が短期留学を行った。

こんねんどう ようしゅうだいがくしゅうし ねんがくせい すういえんなん
今年度は、揚州大学修士2年学生の隋雁南(Sui
わんじんい じやおちえんみん
Yannan)さん、王婧怡(Wang Jingyi)さん、趙倩明(Zhao Qianming)さんが、2016年9月25日から10月12日まで18日間の東北
だいがくのうがくけんきゅうかおうようどうぶつかがく ほうもん かれ ようしゅうだいがくどうぶつかがくぎじゆつがくいん しよぞく どうぶつしやうがく せんこう
大学農学研究科応用動物学系への訪問となった。彼らは揚州大学動物科学技術院に所属して動物飼養学を専攻し、
ちょうかんじょうひさいぼうもち きゅうしゅうきこう ぼくそう はついくそがい けんきゅう おこな ぶんやほうもん さいい けんきゅうないよう せつめい
腸管上皮細胞を用いたペプチド吸収機構と牧草の発育阻害の研究を行っている。分野訪問の際は研究内容の説明
う せつきよくてき しつもん ぼくそくがくせい した こうりゆう かわたびのうじょう ぱく
を受け、それぞれの観点から積極的に質問し、所属学生と親しく交流をしました。川渡農場には2泊しました。
かわたびのうじょう ふく おうようどうぶつかがく しよぞく すべ けんきゅうしつ ほうもん きょういん がくせいたち こうりゆう おこな
川渡農場を含め、応用動物科学コースに所属する全ての研究室を訪問し、教員ならびに学生達との交流を行い
ほんがく だいがくいんせい おうようどうぶつかがく かくけんきゅうしつ めい さんか あいて かわれ ちゅうごく おこな
ました。また、本学の大学院生（応用動物科学コースの各研究室から2-3名が参加）を相手に、彼らが中国で行っている
けんきゅう しゆくじつ きのう
研究をプレゼンテーションしてくれました。祝日は、機能
けいたいがくぶんや がくせい みずか けんきゅうないよう しょうかい おこな
形態学分野の学生が自らの研究内容の紹介を行い、
てづく ちゅうしよくかい たの こうりゆう ふか ほんこうりゆう
手作りの昼食会を楽しみ、交流を深めました。本交流
ますますはってん とく りょうだいがく わか がくせいたち こうりゆう とお
が益々発展し、特に両大学の若い学生達が交流を通し
たが しげき あ かんけい きたい つよ
て、お互いを刺激し合える関係になることを期待したいと強く
かん
感じました。



なるおんせん けんがく ひだり ひょうむか
鳴子温泉「メタンカフェ」見学（左から、馮夢佳(Feng Mengjia)
どうぶつかんきょう がくけんきゅうせい すういえんなん どうぶつかんきょう
（動物環境システム学研究生）さん、隋雁南さん、動物環境
がくじゆんきょうじゆただせんせい わんじんい じやおちえんみん
システム学准教授多田先生、王婧怡さん、趙倩明さん）



りゅうがくせい めい どうぶつしげんかがくぶんや まつちや た れんしゅうちゅう
留学生3名が動物資源科学分野にてお抹茶を点てる練習中
（左から、趙倩明さん、王婧怡さん、隋雁南さん）

ねん がつ にち がつ にち にちかん とうほく
2016年9月25日から10月12日まで18日間の東北
だいがくのうがくけんきゅうかおうようどうぶつかがく ほうもん かれ ようしゅうだいがくどうぶつかがくぎじゆつがくいん しよぞく どうぶつしやうがく せんこう
大学農学研究科応用動物学系への訪問となった。彼らは揚州大学動物科学技術院に所属して動物飼養学を専攻し、
ちょうかんじょうひさいぼうもち きゅうしゅうきこう ぼくそう はついくそがい けんきゅう おこな ぶんやほうもん さいい けんきゅうないよう せつめい
腸管上皮細胞を用いたペプチド吸収機構と牧草の発育阻害の研究を行っている。分野訪問の際は研究内容の説明
う せつきよくてき しつもん ぼくそくがくせい した こうりゆう かわたびのうじょう ぱく
を受け、それぞれの観点から積極的に質問し、所属学生と親しく交流をしました。川渡農場には2泊しました。
かわたびのうじょう ふく おうようどうぶつかがく しよぞく すべ けんきゅうしつ ほうもん きょういん がくせいたち こうりゆう おこな
川渡農場を含め、応用動物科学コースに所属する全ての研究室を訪問し、教員ならびに学生達との交流を行い
ほんがく だいがくいんせい おうようどうぶつかがく かくけんきゅうしつ めい さんか あいて かわれ ちゅうごく おこな
ました。また、本学の大学院生（応用動物科学コースの各研究室から2-3名が参加）を相手に、彼らが中国で行っている
けんきゅう しゆくじつ きのう
研究をプレゼンテーションしてくれました。祝日は、機能
けいたいがくぶんや がくせい みずか けんきゅうないよう しょうかい おこな
形態学分野の学生が自らの研究内容の紹介を行い、
てづく ちゅうしよくかい たの こうりゆう ふか ほんこうりゆう
手作りの昼食会を楽しみ、交流を深めました。本交流
ますますはってん とく りょうだいがく わか がくせいたち こうりゆう とお
が益々発展し、特に両大学の若い学生達が交流を通し
たが しげき あ かんけい きたい つよ
て、お互いを刺激し合える関係になることを期待したいと強く
かん
感じました。
ほんこうりゆうじぎょう じつし とうほくだいがくだいがくいのうがく
本交流事業を実施できたのは、東北大学大学院農学
けんきゅうかこくさいこうりゆういんかい こくさいこうりゆう もくてき たんき
研究科国際交流委員会「国際交流を目的とした短期
しょうへいりゅうがくせいじぎょう けいひ しんせい もと
招聘留学生事業にかかる経費」に申請して求められた
たいざいけいい くわ がくせいしやうがくきん みと かげ
滞在経費に加え、JASSO学生奨学金が認められたお陰であ
あたら かんしや おうようどうぶつかがくけいしよくいん
り、改めて感謝いたします。また、応用動物学系職員と
がくせいしよくん きょうりよく かんしや つよ
学生諸君の協力に感謝いたします。

のうかだいがく
■ **ボゴール農科大学 (インドネシア)** ■

すいさんしげんかがくぶんや きょうじゅ おち あい よし ひろ
水産資源化学分野 教授 落合芳博

のうかだいがくすいさんかいようかかくぶ こうし
 ボゴール農科大学水産海洋科学部の Nurilmala Mala 講師
 を、平成28年9月25日から10月1日まで、農学研究科の
 落ち合芳博教授が窓口となって、水産資源化学研究室
 に招聘研究者として受け入れた。滞在中、魚肉タンパ
 ク質に関する論文執筆を進め、食品関係の専門誌に
 投稿した。同講師には農学部（水産化学）において
 海洋生物化学コース3年生に魚肉色素について話をし
 ただいた（写真1）。また、短期招聘留学生として
 同大学の学部3年生 Purnama Arafah を同年11月6日
 から20日まで、同研究室に受け入れた。滞在中は魚皮コ
 レーゲンの機能性に関する研究に從事してもらったほか、AMB
 コースで開講のいくつかの講義を聴講し、さらに同
 大学の学生をはじめ、雨宮キャンパスに在籍する多くの留
 学生と懇親を深めた（写真2）。一方、6月22日から23
 日に落ち合教授が同大学 Darmaga キャンパス（IPB）を
 訪れ、魚類筋肉のメタボロミクス解析に関する講演を
 行ったほか、同大学が発行する学術雑誌（Jurnal Pengolahan
 Hasil Perikanan Indonesia）の編集チーム（同教授も
 国際編集委員の一人）と今後の編集方針について討
 論を行った（写真3）。



写真1. 農学部教室にて海洋生物化学コースの
 学生に話をする Mala 講師



写真2. 国際交流室にて。左手前が Purnama さん。
 中央奥が落ち合教授。他はAMBコースの学生。



写真3. Darmaga キャンパスの International Convention Center で
 編集チームと（中央が落ち合教授）

えいようがくぶんや じゅんきょうじゅ しら かわ ひとし
栄養学分野 准教授 白川仁

インドネシアとの二国間交流事業共同研究（JSPS
 事業）で交流を行いました。5月23日から30日まで、
 白川准教授、磯野研究員、大学院生2名（阿部
 望美、加藤亜美）がボゴール農科大学を訪問し、クモノスカ
 ビによりインドネシア産米糠を発酵させる試験を
 行いました。また、7月31日から8月13日まで、ボ
 ゴール農科大学の Slamet Budijanto 教授、Bakrie 大
 学の Ardiansyah 助教（ボゴール農科大学出身）が
 当研究科を訪問し、共同研究の成果発表を行
 いました。



こめぬか ほうこうしけん ようす
 米糠の発酵試験の様子



せいきょうのうがくぶてんしよくどう
生協農学部店食堂にて

11月6日から13日まで、日本・アジア青少年サイエンス
交流事業 (JST) により、ボゴール農科大学、バクリー
大学の大学生・大学院生 (合計10名) と引率教員
(2名) が当研究科を訪問しました。東北大学の紹介、
「食と農免疫国際教育研究センター (CFAI)」の
紹介、食と農免疫に関する英語での講義に参加しました。
また、各研究室において、研究内容の学生による説明
と見学のほか、青葉山新キャンパス、女川フィールドセン
ターを見学しました。最終日に本交流事業の修了式
とレセプションを開催しました。

■ 上海海洋大学 (中国) ■

2016年度は本学と上海海洋大学との交流が活発に
行われました。4月には学部特別聴講生として上海海洋
大学3年生王玉君および于凌飛君が仙台に到着しまし
た。所定の手続きを終えて、それぞれ海洋生物科学系の水産
資源化学研究室および水産資源生態学研究室に席をお
き、王君は学生実験、水産化学、水産食品管理学などの
学部授業を受講するとともに水産食品の安全性に関する
研究テーマで研鑽を積んでいます。10月には大学院前期2
年の過程に4名が合格しました。閻閃君が水産資源化学分野
に洪珮琪君と洪澤群君が水産資源生態学分野に、また陳
其然君が海洋生命遺傳情報システム学分野に所属しそれぞ
れの分野で勉学・研究に日夜励んでいます。また前期2年生
では、何曉露君は水産資源化学分野で研究に取り組んでお
り、学会発表の準備など忙しい毎日を送っています。

東北大学と上海海洋大学との交流は農学部との部局間交流から大学間交流に発展し、教職員を含めた
交流を活発に繰り広げてきました。今後、更なる交流が発展することを願っています。

水産資源化学分野 准教授 山口敏康



あき なすこうげん けんきゆうしつ みな りよう い
秋の那須高原に研究室の皆と旅行に行きました

■ ガジャマダ大学 (インドネシア) ■

10月より、ガジャマダ大学卒の Saputra Wahyu Dwi さんが、栄養学分野へ研究生 (国費留学生) として入室した。
同氏は、平成29年4月から大学院前期2年の課程に入學する事が決まった。

■ ロシア科学アカデミーシベリア支部 (ロシア) ■

2016年8月29日～9月2日にロシアのノボシビルスクで開催された国際会議 The 10th International Conference on the
Bioinformatics of Genome Regulation and Structure/Systems Biology に招待され、金山教授 (農学研究科) 他大学院生3名が

参加し、トマトの遺伝子解析等に関する講演およびポスター発表を行った。本会議は、協定先であるロシアアカデミーシベリア支部 (IC&G SB RAS) が主催するゲノム関連科学に関する伝統ある国際会議であることから、ゲノム科学やバイオインフォマティクスに関する重要な知見を得ることができた。同時に Open Joint Seminar IC&G SB RAS – Tohoku University を IC&G SB RAS 細胞遺伝学研究所の Kochetov 博士と共催し、Education and Research in High-Tech for Plant Production をテーマとした発表と討論を行い、交流を深めることができた。さら
に今後の共同研究に関する打合せも行った。今回の訪問は大学の世界展開力強化事業のサポートによるものであり、この場を借りて謝意を表す。



会議の様子

■ ビゴ大学分析化学・食品学部 (スペイン) ■

天然物生命化学分野 教授 山下 まり

2016年5月ごろに、スペイン ビゴ大学 分析化学・食品学部のアナ カゴマルティネス教授より、最近ヨーロッパでフグ毒テトロドトキシンが、牡蠣などの二枚貝や、巻貝より検出されたことにより、食品安全のための規制値を設定する動きがあるため、テトロドトキシンに関する情報提供を求められた。メールで何度か、分析方法や類縁体とその毒性について質問され、それに答えた。2016年9月にアナ教授が主催したテトロドトキシンとシガトキシンに関するミーティングがスペイン、ビゴで開催されたが、あいにく都合がつかず、概要だけ伺った。メール交換だけであったが、お互いに情報交換する機会となり、このような学術的な交流を今後も継続できればと思う。

■ 台湾台北医学大学公衆衛生栄養学院 (台湾) ■

栄養学分野 准教授 白川 仁

8月28日から9月4日まで、日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (JST) により、大学院生10名と引率教員 (2名) が来仙した。当研究科の「食と農免疫国際教育研究センター (CFAI)」の紹介、英語での講義に参加、そして研究室見学のほか、川内キャンパス、青葉山新キャンパス、女川フィールドセンターを見学しました。最終日に本交流事業の修了式とレセプションを開催しました。



生協農学部食堂にて

■ ダッカ大学生物科学部 (バングラディッシュ) ■

栄養学分野 准教授 白川 仁

ダッカ大学出身の Jahidul Islam さん (国費留学生) が、1月の博士号取得の最終試験に合格し、3月24日の学位記授与式にて取得見込みとなった。

だいがくのうがくぶ

■ ハサヌディン大学農学部 (インドネシア) ■

かんきょうてきおうせいぶつこうがくぶんや きょうじゅ とり やま きん や
環境適応生物学分野 教授 鳥山 欽哉

とうほくだいがくだいがくいんのうがくけんきゅうか
東北大学大学院農学研究科とインドネシア・ハサヌディン大学農学部との間で部局間学術交流協定を2015年3月16日に締結しました。スラウエシ島にあるハサヌディン大学の農学部の Rinaldi Sjahlil 准教授らと鳥山欽哉教授らは、トラジャ地方の在来イネの品種改良に関する共同研究を推進しています。早生化や半矮性化の開発が求められているため、理化学研究所とも共同して重イオンビーム照射による突然変異育種を行っています。2017年3月に本研究所から鳥山欽哉教授と佐藤志志産学官連携研究員がハサヌディン大学を訪問して研究打ち合せと現地視察を行いました。



Rinaldi Sjahlil 准教授らは、本共同研究に関するハサヌディン大学の World Class University International Research collaboration Fund を獲得し、イネの栽培試験地には、東北大学の名前も入った立派な看板もありました(写真)。今年は、早生化や半矮性化した突然変異系統を選抜できると期待しています。

■ ニジニー・ノブゴロド国立農業アカデミー (ロシア) ■

かんきょう せいぶつこうがくぶんや きょうじゅ なか い ゆたか
環境システム生物学分野 教授 中井 裕

へいせい ねん がつ か がつ にち かかん
平成28年5月24日より5月27日までの4日間、Nizhny

Novgorod State Agricultural Academy (ニジニー・ノブゴロド国立農業アカデミー) から、部局間学術交流協定に基づいて2名の先生が来仙されました。

平成28年5月25日(水)には、Dabakhova Elena (ダバホヴァ・エレーナ) 教授が「Effective directions of technology of reclamation of disturbed and contaminated land (汚染土壌修復技術)」と題し、また Kozyrenko Olga (コジレンコ・オルガ) 准教授が「The main vectors of

Russian cross-border infections (ロシア国外から侵入する疾病の媒介動物)」と題し、講演が行われました。講演内容は、パイプライン設置などによる攪乱された土壌を農地



こうえんかい ようす
講演会の様子



こまいみ ち おけんきゅうかちょう きょうじゅ
駒井三千夫 研究科長、エレーナ 教授、
オルガ 准教授、中井裕 教授

に復旧するための試みや、ロシア国内の家畜および人獣共通感染症の発生調査などでした。

また、川渡フィールドセンターでは、学生を対象としたセミナーが開催されました。発表内容は、大学や獣医学部の紹介でしたが、質問に答える形で、炭疽病発生を想定した、病原菌の検出、地区封鎖、消毒、汚染肉の焼却といった一連の訓練のビデオが映写されました。炭疽病は、危険な人獣共通感染症で、炭疽菌は古くは生物兵器、近年はバイオテロに用いられた例があります。

今後とも、積極的に国際連携に関わって行きたいと思っています。

■ ワーゲニンゲン大学・ユトレヒト大学 (オランダ) ■

食と農免疫国際教育研究センター 野地智法

平成28年9月18日～23日までの間、国際ワークショップ

「Innate Immunity of Crop, Livestock and Fish: “The Dawn of Agricultural Immunology”」をオランダのローレンツセンターで開催し、ワーゲニンゲン大学およびユトレヒト大学の研究グループと、「食と農免疫」に関する活発な討論を行いました。今回のワークショップは、グループ討論や自由討論の時間を十分に設けたことから、共同研究の提案や次のワークショップ開催に向けたテーマの絞り込み、さらには学生を含めた人事交流の促進など、具体的な提案が多数なされました。東北大学からは、食と農免疫国際教育研究センターに所属する教員を



国際ワークショップの様子

中心に12名が、またワーゲニンゲン大学からは8名、ユトレヒト大学からは7名、米国カリフォルニア大学デービス校から1名が参加しました。また、本国際ワークショップ開催後に、ワーゲニンゲン大学の Graduate School Experimental Plant Sciences およびユトレヒト大学の Future Food Utrecht との国際共同研究協定(部局間協定)も締結されました。

■ アルゼンチン国立乳酸菌研究所 (アルゼンチン) ■

食と農免疫国際教育研究センター 野地智法

2016年10月14日より28日までの間、日本学術振興会二国間交流事業(共同研究)及びSGU(スーパーグローバル大学創成支援事業)の支援の下、北澤春樹准教授(動物資源化学分野)、野地智法准教授(機能形態学分野)、舂水由季さん(動物資源化学分野、博士課程前期2年)、佐藤菜さん(動物資源化学分野、博士課程前期1年)が、アルゼンチンの国立乳酸菌研究所及びツクマン大学を訪問しました。現地では、乳酸菌新規免疫学的利用性に関する共同研究の打ち合わせや、国立乳酸菌研究所セミナーでの講演、第5回乳酸菌国際シンポジウムでの講演及びポスター発表、ツクマン



国立乳酸菌研究所でのセミナー後の様子



ツクマン大学工学研究科長との交流の様子

大学大学院工学研究科長訪問、ツクマン大学大学院での講義など、非常に活発な交流が行われました。中でも、第5回乳酸菌国際シンポジウムでは、舂水由季さんの発表が、163題のポスター発表の中の特に優れたポスター3題の中の1題として選ばれ、見事、優秀ポスター賞を受賞しました。また、本訪問に合わせて、東北大学農学けんきゅうか 国際乳酸菌研究所間の国際共同研究協定(部局間協定)も締結されました。



こくりつにゆうさんきんけんきゅうしょ ぶきょくかんきょうてい ていけつ
 国立乳酸菌研究所と部局間協定を締結

ねん がついつか にち あいだ にほんがくじゅつしんこうかい
 2016年12月5日より17日までの間、日本学術振興会
 にこくかんこうりゅうじぎょう きょうどうけんきゅう およ とうほくだいがくこうど
 二国間交流事業（共同研究）及び東北大学高度
 きょういっくわいはつすいしんじぎょう しえん もと こくりつにゆうさんきんけんきゅうしょ
 教育開発推進事業の支援の下、国立乳酸菌研究所

の Julio Villena 博士を東北大学農学研究科に招聘しまし
 た。その間、高度教育開発推進事業における授業開発

(Project-based learning:PBL形式のサーモン教育)、食と
 のうめんえきこくさいきょういくけんきゅう
 農免疫国際教育研究センターにおける特別講義、
 にほんがくじゅつしんこうかいにこくかんこうりゅうじぎょう きょうどうけんきゅう
 日本学術振興会二国間交流事業における共同研究
 すいしん けいしき きょういっく しよく
 推進、さらには新たな共同研究および研究者交流に
 かん う あ じっし なか ほんしやうへいじぎょう
 関する打ち合わせを実施しました。中でも、本招聘事業の
 にかげつまえ ほうもん ますみずゆき どうぶつ
 二カ月前にアルゼンチンを訪問した舩水由季さん（動物

しげんかがくぶんや はくしかていぜんき ねん さとうなな どうぶつしげんかがくぶんや はくしかていぜんき ねん
 資源化学分野、博士課程前期2年）、佐藤菜さん（動物資源化学分野、博士課程前期1年）をファシリテーターとした授業開発
 では、海外訪問を通して解決した課題を講義参加者と共有し、またそこから新たな課題の設定を目指したアクティブ
 ラーニングであり、Villena 博士の適切なコメントも加わり、海外留学を希望する次の世代の大学院生は大いに刺激を受け
 ました。Villena 博士は、2017年7月にも、東北大学を訪問することが決まっており、継続的な交流を行うことで、国立
 にゆうさんきんけんきゅうしょ こくさいきょうどうけんきゅう しんてん きたい
 乳酸菌研究所との国際共同研究はさらに進展すると期待されます。



はくし とくべつこうぎ
 Villena 博士の特別講義



きょういっく じゅぎょうふうけい
 サーモン教育トライアルの授業風景

しんぼくかい じっし
 親睦会の実施

がつ にち のうがくぶ のうがくけんきゅうか まな りゅうがくせいそうご りゅうがくせい かがいがくしゅう
 10月19日、農学部・農学研究科で学んでいる留学生相互の、また留学生とTGL課外学習コースSemi Lunchtime
 さんか にほんじんがくせいかん しんぼく ふか もくてき いちに しんぼくかい かいさい
 に参加している日本人学生間の、親睦を深めることを目的とした芋煮親睦会を開催しました。

とうじつ めい こ りゅうがくせい にほんじんがくせい しんぼくかい さんか いっしょ いちに つく た しんぼく ふか
 当日は60名を超える留学生と日本人学生がこの親睦会に参加し、一緒に芋煮を作って・食べて、親睦を深めました。
 い か さんかしゃ かんそう
 以下は参加者の感想です。

- おいしかった。(学部4年・日本)
 こくさいこうりゅう さんか たの さんか おも
 国際交流が楽しくて、参加しました。とても楽しかったので、“Semi Lunchtime”にも参加したいと思えます。
- Imoni Gathering is good for allowing foreign students to taste a little of Miyagi's culture, as well as allow foreign students to meet
 さんか ねん にほん
 each other on campus. (学部4年・シンガポール)
- おいしかったです。ありがとうございます。(修士1年・中国)
 しゅうし ねん ちゅうごく
- Good Weather, Good Food with Good People, Perfect!!! Hope many events like this in the future! Tanoshimi!

しゅうし ねん
(修士2年・インドネシア)

- I have been here for 1.5 years, and just met a girl from a country close to mine for the first time. I think this gathering is quite nice and should be done more often. Thank you. (修士2年・レバノン)
- It was very interesting time, cause we can meet various people, interact by each other, tasty Imoni. I am looking forward to next time seriously. Thanks for food. (JYPE・韓国)
- It was great time for me, because we can meet more people from different countries, and talk to them. The food is really delicious also. Thank you so much. (JYPE・インドネシア)
- “Imo” is delicious. (学部1年・タイ)
- 皆と一緒に食べながら、話をすることができてうれしかったです。また二種類の芋煮を食べることができ、いい体験ができました。このイベントで新しい友達ことができました。またこのようなイベントがあれば、必ず参加したいと思います。(学部研究生・台湾)
- I really enjoy the imoni party. Thank you very much for arranging this social gathering. I hope this social gathering will increase our confidence and social value among the students. (博士3年・バングラデシュ)
- 他の学生と一緒に芋煮を作って、食べることができておもしろかったです。また新しい友達もでき、うれしく思っています。私は皆と話をすることが好きなので、機会があればまた参加したいです。(学部研究生・中国)
- The food is delicious and the people are friendly. Thank you very much for inviting me. (修士2年・インドネシア)
- I could meet the other international student. Very good!! (学部研究生・インドネシア)
- Friendly atmosphere and delicious soup!! I hope this Imoni-Kai could be mediate better communication among the international students. (修士1年・インドネシア)
- この時期にあつあつの芋煮を食べることができ、幸せでした。ありがとうございました。(博士1年・中国)
- It is really interesting for me, and really helpful because you provided halal food. However, it might to be better if we have a time for “self-introduction”. (学部1年・インドネシア)
- Thank you for Imoni!! (学部4年・タイ)
- It is difficult for me to speak or listen English. However, it was fun to communicate with people from overseas. I would like to join other gathering like “Semi Lunchtime” on Friday. (学部4年・日本)
- 芋煮はおいしかったです！新しい友達もできました！ありがとうございました！(修士1年・中国)
- 芋煮はおいしかったです！日本人の学生さんも親切でした。ありがとうございました。(学部研究生・中国)
- Very Good Program. Good Networking. Enjoyed. More of such program. (博士3年・ソロモン諸島)
- 芋煮はおいしく、雰囲気もよかったです。他の留学生と会えて、とても嬉しかったです。来年の芋煮も楽しみにしています。(学部研究生・中国)
- Good!! (学部4年・日本)
- Very Good!! (学部4年・日本)
- Nice Food. Friendly People. Good Time. (修士1年・中国)
- 美味しかったです。来年の芋煮も楽しみにしています。少し量が足りないと感じました。(修士1年・中国)
- 第一回芋煮会に参加しましたが、芋煮はおいしく、楽しかったです。(修士1年・中国)
- たくさんの留学生と出会え、参加して本当によかったです。主催して下さった先生方とお手伝いの学生の方々に感謝します。ありがとうございました。(修士1年・中国)
- It was a nice little meeting and a good chance to meet up and chat with some people I do not see very often. The imoni was fairly good for ensuring a good mood, but it was a bit awkward not being able to sit down. (学部4年・アメリカ)
- It was nice to try Imoni (It is my first time to try them!), and it was a nice opportunity to meet other students. (学部1年・韓国)
- I found that Imoni was special for AMB students. (学部4年・日本)
- 留学生が嬉しそうに芋煮を食べていて、楽しそう良かったです。とてもおいしかったです。ごちそうさまでした。(修士1年・日本)